

公立大学法人秋田県立大学教員募集要項

1. 職名及び人員 教授 または 准教授 1名
2. 所属 システム科学技術学部 機械工学科
3. 専門分野 輸送機械及びそれに関連する分野
輸送機械の開発・製造等に必要の機械設計、材料、加工などの要素技術に関する研究の経験と業績を有し、学部生及び大学院生の教育・研究指導、地元企業との共同研究等に意欲を持って取り組める方を求めます。
4. 担当授業科目 (学 部) 輸送機械工学、機械設計工学、キャップストーンプロジェクト (企業課題解決 PBL 演習)、セミナー、卒業研究指導 等
(大学院) 輸送機械特論、工学的失敗論、システム設計論 II、機械工学専門セミナー、修士論文指導、博士論文指導 等
5. 応募資格 (1)博士の学位を有し、研究上の業績を有すること
(2)当該分野の教育と研究に熱意を持っていること、地域貢献にも意欲を持っていること
(3)国籍は問わないが、日本語が堪能であること
(4)採用が決定した場合、確実に着任できること
6. 採用予定日 2025年4月1日
7. 勤務条件等 (1)身分 公立大学法人職員
(2)給与 職位・業績・職務内容に応じた年俸制 (本学給与規程による)
(3)勤務 裁量労働制
(4)任期 5年の任期制 (再任回数に制限なし。勤務成績、業務遂行の目標及び計画等により判断する。)
(5)定年 67歳
8. 応募書類 (1)履歴書 (本学所定の様式1*による。)
(2)研究業績書 (本学所定の様式2*による。) 学術論文は、①学術誌論文 (査読付き)、②国際会議発表論文 (査読付き)、③その他に分類して記載してください。また、主要なもの5編に○をつけてください。
(3)主要論文5編 (コピー可)
(4)これまでの研究、教育及び社会活動 (地域貢献を含む。) の概要 (1,000字程度)
(5)教育に対する抱負 (1,000字程度)
(6)研究・地域貢献に対する抱負 (1,000字程度)
(7)応募者について意見を求めることができる推薦者2名の氏名と連絡先
(8)科研費等外部資金獲得の実績がある場合は、過去5年間における獲得状況の一覧
注)*印:履歴書 (様式1) 及び研究業績書 (様式2) については、ホームページ (<https://www.akita-pu.ac.jp/about/saiyo/>) をご参照ください。
9. 応募締め切り 2024年9月18日 (水) 必着
10. 選考方法 (1)第一次選考 提出書類審査、学部選考委員会による面接 (模擬授業を含む)
(2)第二次選考 プレゼンテーション、学長・副学長による面接
※第一次選考及び第二次選考の面接はオンラインで実施する場合があります。
※対面にて面接を実施する場合の旅費等は自己負担となります。
11. 応募書類の提出先及び問い合わせ先
提出先: 〒015-0055 秋田県由利本荘市土谷字海老ノ口 84-4
秋田県立大学システム科学技術学部 教員選考委員長 西田 哲也
TEL: 0184-27-2000 (本荘キャンパス代表)、E-mail: tetsuya_nishida@akita-pu.ac.jp
※封筒の表に「機械工学科教員応募書類在中」と朱書きし、簡易書留で送付してください。
応募書類は返却しません。
問い合わせ先: 秋田県立大学システム科学技術学部 機械工学科長 鶴田 俊
TEL: 0184-27-2102 (ダイヤルイン)、E-mail: TTsuruda@akita-pu.ac.jp
12. その他 本学は、女性の職業活動における活躍の推進に関する法律に基づき、女性活躍のための支援、環境整備に努めており、女性研究者の積極的な応募を歓迎します。

(次世代育成支援対策推進法及び女性活躍推進法に基づく公立大学法人秋田県立大学一般事業主行動計画:

https://www.akita-pu.ac.jp/up/files/www/about/houjin/keikaku/20210317_koudou02.pdf)

今回の公募で求める人材像

機械工学科は地球資源・エネルギーの有効活用による、人と環境に優しい高度機械システムに関する教育と研究を行っています。エネルギーシステム、輸送機械、生産システムを教育と研究の柱とし、プロジェクト型授業（キャップストーンプロジェクト）による問題発見・解決型実践的学習を通して、地域の社会基盤を支える実践的技術者の育成を目指しています。本公募では、学科の研究教育方針に基づき、今後強化すべき輸送機械関連分野に関する経験と業績を有し、教育・研究や地域貢献に意欲をもって率先して取り組める人材を求めます。

各領域に関しての具体的な人材像は下記のとおりです。

[教育]

輸送機械の開発・製造等に必要となる機械設計、材料、加工などの要素技術の分野のいずれかの教育を担当できる人材を求めます。同時に、地元企業と密接な関係を築き、県内企業で活躍する人材の輩出に意欲をもって取り組める人材を求めます。

[研究]

秋田県と本学が取り組む航空機等の輸送機械の電動化に関連する分野の研究を専門とし、地元企業と連携して研究を推進する熱意と能力を持つ人材を求めます。特に、航空機用電動燃料ポンプおよびその試験設備に関連する分野や、電気自動車のパワートレイン等に関連する分野の研究に熱意を持って取り組める人材を求めます。

[地域貢献]

秋田県の重点政策となっている航空機等の輸送機械の電動化に関連する分野の新事業創出と、既存の事業を含めて、その拡大・発展に携わる人材の育成が必要です。これらの分野に地元企業と連携して取り組み、人材の育成に取り組むなど、地域が取り組むに対して意欲的に取り組める人材を求めます。

本学は、女性の職業活動における活躍の推進に関する法律に基づき、女性活躍のための支援、環境整備に努めており、女性研究者の積極的な応募を歓迎します。

令和6年度 機械工学科大講座グループ構成

基本方針: 機械工学科は3大講座制とし、地球資源・エネルギーの有効利用による、人と環境に優しい高度機械システムに関する教育と研究を推進する。

材料構造工学講座

●応用材料力学研究グループ

機械部品から細胞培養基質までの幅広い材料の開発、成形加工とその強度や諸特性の解析と評価方法を研究しています。また、研究成果の社会的還元を目指して、応用分野についても研究と開発を進めています。

●先端材料研究グループ

複合材料、機能性セラミックス、アモルファス金属、準安定結晶などの先端材料を主な対象とし、より優れた機能を有する材料を創製し、その特性を調べ、有効に利用するための方法を研究・開発しています。

熱・流体工学講座

●熱科学研究グループ

熱科学を基礎として、社会から要望される「環境」「エネルギー」「安全」の調和した技術開発に貢献することを研究の目的としています。また、地域の技術開発を支援する目的で熱計測技術の研究も行っています。

●電磁場ダイナミクス研究グループ

電磁場を用いたアクチュエータや物体の制御技術について、実験とシミュレーションを通じて研究しています。エネルギー貯蔵、システム効率の改善、水素社会への対応、医工学技術による治療など、人と社会に貢献する技術の基礎研究を行います。

設計生産工学講座

●応用機械設計研究グループ

地球規模で急速に進む環境問題を踏まえ、各種力学、材料学、加工学、制御工学、電磁気学など多岐にわたる分野の総合である機械設計をベースに、人間の生活・環境・産業に寄与する機械システムの研究開発に取り組んでいます。

●先端加工研究グループ

製造技術の根幹をなす機械要素や光電デバイスの精密・微細加工製作方法に関する研究を行います。超音波や磁場を援用した精密加工技術の高度化開発や、微小径工具を用いた高精度・高効率加工を行っています。